

## 総務・企業常任委員会 県内行政調査

1 調査日 平成23年7月25日(月)

### 2 調査の概要

#### (1) 滋賀県立大学(彦根市八坂町)

地方独立行政法人となって、6年目を迎えた滋賀県立大学は、今年度、平成24年度から平成29年度までを期間とする第2期中期目標を県議会の議決を経て策定する予定である。第2期中期目標では、住民へのサービスその他の業務の質の向上、業務運営の改善および効率化、財務内容の改善等について定めることとされており、県議会としても本委員会において内容を審査する必要があることから、滋賀県立大学の運営状況や施設の概要について調査を行った。



委員からは、地域への貢献をさらに進めてもらいたい、などの意見が出された。

#### (2) 消防学校(東近江市神郷町)

近年、社会経済情勢の変化の中で、災害や事故の様子は複雑多様化の傾向を強めており、各地で災害等が相次いで発生している。特に、東日本大震災以降は、県民の防災に対する意識が高まっていると思われる。

滋賀県消防学校は、消防職員および消防団員を主たる対象として、人材育成のための教育訓練を実施する県の機関である。1年間を通じて専門的で高度な内容のさまざまな教育訓練を実施しているところであり、今回、施設、事業の概要および訓練現場の状況について調査を行った。



委員からは、新たな分野として原発問題についての専門家も育ててもらいたい、などの意見が出された。

#### (3) 吉川浄水場(野洲市吉川)

吉川浄水場は、湖南水道用水供給事業および南部工業用水道事業との共同施設となっており、昭和53年に用水の供給を開始し、現在、湖南地域の5市に水道用水と6市1町に工業用水を供給している。

なお、吉川浄水場では事業統合に伴い、これまで各浄水場で行っていた運転監視業務について、集中監視制御設備を導入することで一元化するとともに、本庁および各水道事務所の組織を吉川に集約するなどの組織の再編も行ったところであり、今回は、施設の概要、その取り組み状況についての調査を行った。

